

[た よ り]

高知県支部だより

湯浅健司

はじめに

高知県透析医会は日本透析医会の高知県支部として昭和49年頃に発足したようですが、詳細については残念ながら当時の資料は残っておらず不明であります。平成13年8月18日の総会で、高知県透析医会会則を23年ぶりに改正を行いました。現在の組織として、会長、副会長、会計、監事、各1名、理事9名で構成されています(表1)。平成16年11月現在の施設数は42、会員数は66名、会員は個人会員のみとし、年会費は現在のところ千円です。総会は、原則として年に1回開催し、総会事項以外に当面する諸問題などについて意見交換を行っています。また会員との懇親会も行い透析医間の親睦・情報交換を行っています。

1 活動状況

高知県透析医会の学術活動として、年に1回、高知県透析研究会を開催し、そのときに特別講演、教育講演を企画しています。医師はもちろん看護師、臨床工学技士、栄養士などコメディカルの方々とともに、より良い透析医療を目指して努力しており、毎回の参加

者は100名以上、盛況であります。

平成14年からの高知県透析医会の活動をご報告いたします。

- 平成14年2月17日
「ASOの治療戦略」
名古屋共立病院院長 鳥山高伸先生
- 平成14年9月29日
「透析室における感染対策について」
春日部秀和病院副院長 栗原 怜先生
「成り立ちから考えるROD治療」
東京慈恵会医科大学附属青戸病院 腎臓・高血圧内科 重松 隆先生
「これからのブラッドアクセス維持管理について」
社会保険中央病院透析療法科主任部長 天野 泉先生

第36回四国透析研究会の当番幹事として開催、572名と盛会でありました。

- 平成15年2月23日
「透析患者の栄養管理」
仁真会白鷺病院院長 金 昌雄先生
- 平成16年2月22日
「血液透析患者における脳循環と血圧管理」
九州大学病院腎疾患治療部助教授 平方秀樹先生
- 平成16年9月11日：総会開催
以下について検討しました。
 - ① 平成15年度会計報告
 - ② 第31回高知県透析研究会開催について(日程、特別講演1題、ランチョン1題など)

表1 高知県透析医会役員

会 長	湯浅健司
副 会 長	原 郁夫
会 計	板原 隆
監 事	小松文都
理 事	北村 潔, 寺尾尚民, 桑原和則, 島津栄一, 三宅 晋, 中山拓郎, 近森正昭, 湯浅健司, 原 郁夫

- ③ 人事（次期会計担当について）
 - ④ 第38回四国透析研究会役員会からの報告として、災害時緊急連絡網について、四国透析研究会HPの会員専用ページからの情報送信について検討。
 - ⑤ 透析中の事故予防に関する話題
 - ⑥ 2040年に到来が予測されている南海大地震による津波被害・対策について、専門家（高知工科大学）の講演の企画
- 平成17年2月20日（予定）
「透析患者のリン管理・リンの調節因子」
春日井市民病院 渡邊有三先生
「透析患者の栄養評価と栄養指導」
東京医科大腎臓科 金澤良枝先生

2 今後の課題

透析医療および境界領域の向上・発展を図り、透析医療を通じ高知県の医療に貢献するために、今後学術

研修会の頻度を増やし、コメディカルを含めた会員および各透析施設の充実を図る必要があります。

災害・救急体制の整備については、高知県においては2040年には南海大地震が予測されていますし、また最近の中越地震をはじめとする災害対策の整備が重要な課題となっています。日本透析医会はもちろん各県あるいはブロック単位での連絡・救助体制が整備されつつあります。高知県透析医会においても、各透析施設内での対策はもちろんのこと、各施設間の連絡体制や、行政との連携などについて検討をしたいと考えています。

おわりに

透析患者のQOLの維持・向上を目指して、透析患者が安心して、安全に、良質で、高度な透析医療をうけられるよう、各々のキーワードの分野で高知県透析医会支部としてひとつずつ充実させていきたいと考えています。